

令和5年度第23回青森県春季高等学校卓球選手権大会 実施要項

- 主 催 青森県高等学校体育連盟卓球専門部
 共 催 青森県高等学校体育連盟
 後 援 青森県教育委員会
 主 管 青森県高等学校体育連盟卓球専門部
- 1 期 日 令和5年5月6日(土)～5月8日(月)
- 2 会 場 五所川原市民体育館(五所川原市栄町20-1 電話 0173-34-6121)
- 3 競技種目 (1)男子学校対抗(団体戦) (2)男子ダブルス (3)男子シングルス
 (4)女子学校対抗(団体戦) (5)女子ダブルス (6)女子シングルス ※学校対抗に地区予選はない
- 4 競技日程
- 1日目 5月6日(土)
 7時30分～8時20分 開館・受付・練習
 8時30分～8時50分 開会式
 9時00分～ 男女学校対抗 1・2回戦まで
 男女ダブルス 決勝まで (最終コール18時)
- 2日目 5月7日(日)
 7時30分～8時20分 開館・受付・練習
 8時30分～ 男女シングルス ベスト32まで
 男女学校対抗 決勝まで (最終コール18時)
- 3日目 5月8日(月)
 7時30分～8時20分 開館・受付・練習
 8時30分～ 男女シングルス 決勝まで (終了後直ちに閉会式)
- 5 競技規定
- (1) 現行の日本卓球ルールを適用し、選手は、(公財)日本卓球協会発行のゼッケンを背中につけること。
 (2) タイムアウト制は、学校対抗1部は準々決勝から、シングルスはベスト16決定戦及び順位決定戦から導入する。
 (3) 学校対抗の監督ベンチ入りについて
 ア 監督の資格は、校長が認めた指導者とする。
 イ (公財)日本卓球協会発行の2023年度役職者章を着用すること。
 (4) 個人戦のアドバイザーのベンチ入りについて
 ア アドバイザーの資格は、大会申込時にエントリーした当該学校の監督か選手に限る。監督は、(公財)日本卓球協会発行の2023年度役職者章、選手はゼッケンを着用すること。
 イ 入場は選手と同時になくてもよいが、試合途中でコートを離れた場合、以後はそのコートに復帰できない。
 (5) 日本卓球ルールの中で、以下のことに特に留意すること
 ア ラケット、正規のサービス及び足巻ルールについては正しく理解しておくこと。
 イ 競技用ユニフォームは、(公財)日本卓球協会公認マークのついたものとする。
 ウ 接着剤は、(公財)日本卓球協会が公認した接着剤のみとし、必ず指定した場所で使用すること。
- 6 競技方法
- (1) 全種目11ポイント5ゲームマッチとする。
 (2) 学校対抗は次の方法で行う。
 ア 参加チームについて
 ① 統廃合に係る合同チームを認める。それ以外は単独チームとし、部員不足に伴う合同チームの参加は認めない。
 ② 登録選手は3～8名とする。ただし、外国籍留学生は2名以内とする。
 イ 試合について
 ① 試合は次の順番とする
- | | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|-------------------|
| 順 番 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | S=シングルス
D=ダブルス |
| 形 式 | S | S | D | S | S | |
- シングルスとダブルスに重複して出場出来る。ただし、ダブルスは1番と2番では組むことができない。
 シングルスは全て異なる選手とする。

- ③ 外国籍留学生は、1試合につき1名が単複を問わず1回のみ出場できる。
- ④ 勝敗は3試合先取で決する。
- ⑤ 卓球台は1コートまたは2コートを使用する。試合途中でも1コートから2コート使用への変更指示があり得る。
- ⑥ 3名で出場する場合は1番を棄権とし、対戦校の不利にならないようオーダー提出時に進行へ申し出ること。

7 使用球及び使用卓球台

- (1) 試合球は、ニッタク3スタープレミアムクリーン、VICTAS VP40+、バタフライスリースターボールR40+、バタフライスリースターボールA40+、の選択とする。
- (2) 使用卓球台は、24台を使用し、色はブルーとする。

8 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒で、各県高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒であること。また、当該年度に（公財）日本卓球協会に登録された選手であること。
- (2) 平成16年4月2日以降に生まれた者で、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (3) チームの編成において、全日制・定時制・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (4) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加を認める。
- (5) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない（外国籍留学生もこれに準ずる）。
ただし、一家転住等やむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- (6) 外国籍留学生の参加については、別に定める（公財）全国高体連卓球専門部の規定による。
- (7) 選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学校長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例として、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は3回限りとする。

9 参加申込

- (1) 申込方法
 - ア 各校顧問が大会申込システムから必要事項を入力し、確認メールを地区責任者へ送信すること。
 - イ 申込システム [URL <http://www.aomori-tabletennis.org/taikai>]
 - ① 青森県高体連卓球部ホームページ [URL <http://www.aomori-tabletennis.org/>] で詳細を確認すること。
※ 申込システムの説明書は、ホームページからダウンロードできる。
 - ② 最初に申込システムへの登録（登録済みの選手・監督のほか、入退部員・監督の追加・削除）を済ませること。
※ 登録を済ませなければ、大会申込の必要事項が入力できない。
- (2) 申込（入力・送信）締め切り
 - ア 学校対抗 令和5年4月17日（月）締切
 - イ ダブルス・シングルス 別紙 各地区予選会実施要項 を参照

10 参加料

- (1) 学校対抗 男女各 10,000円
- (2) ダブルス・シングルス 1人 1,500円（両方に出場しても、1人 1,500円）
- (3) 各地区予選会までに、地区責任者へ納入すること。

11 宿泊

宿泊の斡旋はしないので、各校で早めにホテル・旅館に直接申し込むこと。

12 大会中の新型コロナウイルス感染症への対策

- (1) 別紙ガイドライン「日本卓球協会における新型コロナウイルス感染症対策」と「青森県高等学校体育連盟主催・共催大会における感染防止対策について」を適用し遵守する。なお今後の感染状況に応じて、内容が変更されることがある。
- (2) 試合7日前からの健康観察（検温、体調管理）を実施し、大会当日は会場でも検温を行う。また、大会当日に「健康状態申告書」を提出すること。
- (3) 大会会場に入れるのは、選手、顧問、外部指導者、帯同者（選手1名につき2名まで）、とする。また、会場内では試合を行う選手を除き、常にマスクを着用すること。

13 その他

(1) 外部指導者について

ア 青森県高等学校体育連盟卓球専門部監督規定（平成20年4月1日より実施）に準ずる。

イ 外部指導者申請書は、各地区責任者へ用紙を請求し、令和5年4月23日（日）必着で地区責任者まで申し込むこと。（年度内一回） 外部指導者申請書が提出されていない指導者はベンチに入ることができない。

(4) 学校負担金（高体連）について（年度内一回）

ア 学校負担金 男子10,000円・女子10,000円

イ 高体連主催の学校対抗（県春季大会・県高校総体・県新人戦）に出場する学校は、高校総体地区予選までに各地区責任者へ納入すること。

(5) (公財) 日本卓球協会への登録について

ア 登録料 選手：2,500円 監督：3,500円

イ 高校総体地区予選時までに『公財 日本卓球協会 会員登録システム』により登録手続きを行い、承認後に請求書をプリントアウトし、コンビニ等で支払を行うこと。

ウ 会員登録システム（日本卓球協会HP） [URL <http://www.jtta.or.jp/>]